

# 修学旅行新聞

発行所 財団法人協会  
全国修学旅行研究会  
発行人 前田  
〒101 東京都千代田区  
神田錦町1-17-1 (NK第一  
ビル) ☎03 (5259) 0631  
振替 00160-7-36337

## 春の修学旅行シーズン開幕 連合体専用列車の トップは関東地区中学校

### 恒例の出発式 4月13日に東京駅で

本年度、修学旅行の開幕となる東海道新幹線の連合体修学旅行専用列車の出発式が、今年も実施された。四月十三日朝、関東地区中学校連合体専用列車第一陣のスタートを記念して、財団法人全国修学旅行研究会(鈴木力理事長)は、東京駅十八番線において恒例の出発式を行った。

八時前、ホーム中央にこの列車で関西に向かう関東地区公立中学校修学旅行委員会(篠澤利喜雄会長・前橋本市立第二中学校校長)加盟の茨城・栃木両県の五校(鈴木力理事長)は、東全修協、J.R.東海の関係者が参集した。



新幹線ホームでの出発式

本部署局長及び生徒代表の牛久市立下根中学校(小松崎禮二校長)坂本武司君があいさつした。続いて同市立牛久第一中学校(駒澤五郎校長)村上旭君、牛久第三中学校(木宏之君)栃木県宇都宮市立雀宮中学校(木嶋宏校長)黒崎宏則君、同県河内町立古里中学校(津久井陸雄校長)吉村太輔君らから花束が、J.R.東海の工藤純生新幹線鉄道事業本部営業担当部長、青柳貞夫取締役東京駅長、植西俊光運転士、和田恵人車掌長に贈呈された。

青柳駅長が答礼のあいさつをした。修学旅行専用列車は、

財団法人全国修学旅行研究会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

フォトコンテスト  
撮ったおきの京都  
作品を募集中!!  
京都の素晴らしい写真を今年も、近畿日本ツーリス協定旅館連盟京都支部は「撮ったおきの京都」フォトコンテストを、(財)全国修学旅行研究会、京都市観光協会ほかの後援により実施している。

の部は学校名、学年、組も。ツリスト(東京都仕入セン)締切り平成八年十二月三十一日(当日の消印有効) 発表旅行とレジャーの情報送付先〒604京都市中京区誌「ジョイフル」平成九年河原町三条上ル 近畿日本五月号誌上。



「秋の神護寺参道」

群馬、埼玉、千葉の五県で人が新幹線を利用して関西へ向けて見送られて、京都へ向け出発した。関東地区公立中学校修学旅行委員会は、茨城、栃木、

「秋の神護寺参道」(昨年度一般の部観光協会賞 京都・長谷川一雄)

その第一は安全性の確保である。旅行先(国)の国情・政情・治安度・対日感情など、安全に関する緻密かつ正確な情報入手してこれを確認することは何よりも大切である。次に、保護者負担が過重にならない配慮である。航空運賃の割引率の引き上げや、ビザ取得手数料の学生割引制度の実施(中国では実施)などが必要であろう。また教育効果を十分に果たし得る、適切な研修資料(歴史・文化・自然環境等)が豊富な国であるかどうかも旅行地選定の基準として欠かさない条件である。要するに、安全性・教育性・経済性の三条件は、海外・国内を問わず修学旅行を教育的に有効適切に実施する上での基本をなすものである。

財全修協は、時代の趨勢をふまへ、文部省・運輸省・外務省など関係機関の助力を受けて、望ましい海外修学旅行の具現のための活動の推進を期していきたい。

特別活動編纂総説において、昭和六十年九月の教育課程審議会への文部大臣の諮問に対する答申をふまえて改訂が行われたこと、その答申で教育課程の基準改訂には四つのねらいがあることが示されている。そのねらいの第四項が「国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視する」ということである。まさに国際化の時代を視野においての趣旨説明と考えてよいであろう。異国の歴史・文化・人情・風土などに触れながら、日本のそれらのかかわりを知り、あるいは比較対照してみることによって、日本の文化・伝統の素晴らしさが、子供たちの胸奥に一段強烈に印象づけられていくであろう。

かくて、今後も海外修学旅行が急速に増えていくであろうことは、時代の流れとして当然のことであり、その教育的意義からして好ましいことであるといえようが、一方、海外修学旅行の実施に当たっての課題も幾つかある。



思いついたの京都から帰途に (栃木県宇都宮市立雀宮中学校 2面に作文)

### 主張 海外修学旅行を考える

理事長代行 前田 寛  
専務理事

文部省が昭和六十一年度から隔年行っている「高等学校の国際交流等の状況」の平成六年度調査の七項目のうち、海外修学旅行の項をみると、その実施数は公立百十四校、私立三百三十校、参加生徒数は九万六千六百七十二人で、前回調査の平成四年度に比べて、学校数で27.2%増(公立81%増、私立15.4%増)、生徒数で21.9%の増となっている。

また、(財)全修協が昭和三十二年から毎年行っている「都道府県並びに政令指定都市教育委員会の修学旅行実施基準概要調査」の、平成七年度調査によれば、公立高等学校の海外修学旅行を認可しているのは一府二八県三市・計三十二の教育委員会、五十九都

特別活動編纂総説において、昭和六十年九月の教育課程審議会への文部大臣の諮問に対する答申をふまえて改訂が行われたこと、その答申で教育課程の基準改訂には四つのねらいがあることが示されている。そのねらいの第四項が「国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視する」ということである。まさに国際化の時代を視野においての趣旨説明と考えてよいであろう。異国の歴史・文化・人情・風土などに触れながら、日本のそれらのかかわりを知り、あるいは比較対照してみることによって、日本の文化・伝統の素晴らしさが、子供たちの胸奥に一段強烈に印象づけられていくであろう。

かくて、今後も海外修学旅行が急速に増えていくであろうことは、時代の流れとして当然のことであり、その教育的意義からして好ましいことであるといえようが、一方、海外修学旅行の実施に当たっての課題も幾つかある。

その第一は安全性の確保である。旅行先(国)の国情・政情・治安度・対日感情など、安全に関する緻密かつ正確な情報入手してこれを確認することは何よりも大切である。次に、保護者負担が過重にならない配慮である。航空運賃の割引率の引き上げや、ビザ取得手数料の学生割引制度の実施(中国では実施)などが必要であろう。また教育効果を十分に果たし得る、適切な研修資料(歴史・文化・自然環境等)が豊富な国であるかどうかも旅行地選定の基準として欠かさない条件である。要するに、安全性・教育性・経済性の三条件は、海外・国内を問わず修学旅行を教育的に有効適切に実施する上での基本をなすものである。

財全修協は、時代の趨勢をふまへ、文部省・運輸省・外務省など関係機関の助力を受けて、望ましい海外修学旅行の具現のための活動の推進を期していきたい。

特別活動編纂総説において、昭和六十年九月の教育課程審議会への文部大臣の諮問に対する答申をふまえて改訂が行われたこと、その答申で教育課程の基準改訂には四つのねらいがあることが示されている。そのねらいの第四項が「国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視する」ということである。まさに国際化の時代を視野においての趣旨説明と考えてよいであろう。異国の歴史・文化・人情・風土などに触れながら、日本のそれらのかかわりを知り、あるいは比較対照してみることによって、日本の文化・伝統の素晴らしさが、子供たちの胸奥に一段強烈に印象づけられていくであろう。

かくて、今後も海外修学旅行が急速に増えていくであろうことは、時代の流れとして当然のことであり、その教育的意義からして好ましいことであるといえようが、一方、海外修学旅行の実施に当たっての課題も幾つかある。

特別活動編纂総説において、昭和六十年九月の教育課程審議会への文部大臣の諮問に対する答申をふまえて改訂が行われたこと、その答申で教育課程の基準改訂には四つのねらいがあることが示されている。そのねらいの第四項が「国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視する」ということである。まさに国際化の時代を視野においての趣旨説明と考えてよいであろう。異国の歴史・文化・人情・風土などに触れながら、日本のそれらのかかわりを知り、あるいは比較対照してみることによって、日本の文化・伝統の素晴らしさが、子供たちの胸奥に一段強烈に印象づけられていくであろう。

信頼される旅づくり  
心にあざやかな思い出を  
ツリストの  
修学旅行。  
近畿日本ツリスト  
運輸大臣登録一般旅行業第20号(社)日本旅行業協会会員

楽しい修学旅行を、  
より安心  
より快適に  
「学校旅行総合保険」  
をおすすめします。  
東京海上火災保険株式会社  
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

### 修学旅行生の作文

## 感動の三日間

栃木県宇都宮市立雀宮中学校

黒崎 宏 則

楽しみにしていた修学旅行が、いよいよ始まった。不安もあつたけれど、期待に胸をふくらませて奈良・京都へ出発した。

東京駅に着いての出発式。僕が花束を贈呈すると、車掌さんは笑顔で迎えてくれた。それから新幹線に乗り、友達と遊んでいた。あつという間に奈良に着いてしまった。

奈良の最初の見学場所は興福寺であった。東金堂へ

入りに、葉師如来坐像を見た。行がよいよ始まった。不安もあつたけれど、期待に胸をふくらませて奈良・京都へ出発した。

感動し、時間も忘れて、夢中になっていた。次の見学場所は奈良の大仏で親しまれている東大寺。大仏について事前に学習していたが、写真だけではこのくらいの大かさかよくわからないので、この目で確かめてやろうと思っていた。しか



東大寺の大きさに感動

し実際見てみると、想像以上の大きさに驚いた。じっくり鑑賞していたら、時間が予定よりオーバーしていた。でも僕はまあ大丈夫だろうと思っていた。ところが最後の見学場所である新薬師寺を見終わると、本堂に電車に間に合わないくらいに時間が非常にあせり、駅までひたすら走った。着いたとき電車は出発二分前だった。

翌日、この修学旅行で一番印象強かった金閣寺へ行く。金閣寺は修復されたが予定よりオーバーしていた。でも僕はまあ大丈夫だろうと思っていた。ところが最後の見学場所である新薬師寺を見終わると、本堂に電車に間に合わないくらいに時間が非常にあせり、駅までひたすら走った。着いたとき電車は出発二分前だった。

とても感動し、堂内の静かな雰囲気が入った。こうして最後の見学も終わった。金閣寺は修復されたが予定よりオーバーしていた。でも僕はまあ大丈夫だろうと思っていた。ところが最後の見学場所である新薬師寺を見終わると、本堂に電車に間に合わないくらいに時間が非常にあせり、駅までひたすら走った。着いたとき電車は出発二分前だった。

このままのところが調和がとれていて、いいのかもしれないと思った。金閣寺には国内の人はもちろん、外国人もたくさん訪れていた。二日目も終わり、ホテルに戻って、修学旅行らしい楽しい夜を過ごした。

最終日はバス行動だった。この目で一番良かったところは三十三間堂。千体も並んでいる仏像を見て、

## JRのみなさん

お世話になります

茨城県牛久市立下根中学校

坂本 武 司

待ちに待った修学旅行に、今日から三日間、私たち五校は京都・奈良へ出かけます。

この修学旅行に向けて、私たちがたたくさんの話し合いや学習をしてきました。



あいさつする坂本君(中央)

その取り組みの中で、集団行動の大切さや一人一人が自分の行動に責任を持つことの意味、先生方との信頼感の大切さを学びました。

これからの三日間、今まで取り組んできたことを生かしながら、京都・奈良の文化・歴史を体で感じ、地元の人との触れ合いを大切にしたい。皆さんの思い出ができるような最高の修学旅行にしたいと思います。

最後に、乗務員の方々に、お世話になります。よろしくお願ひします。

「知的な旅を楽しむ」歴史街道推進協議会がシンポジウム 4/3

「歴史街道とは、悠久の歴史の舞台を訪ねながら日本の文化を楽しく体験できる新しいルート」のことで、近畿八府県を舞台に、歴史文化資源を活用した空間づくりや環境整備をすすめる、未来にわたって、あらゆる人々に愛され親しまれる日本文化の発信基地づくりをめざします。――歴史街道推進協議会リーフレットより。

この計画に沿ったシンポジウム「知的な旅を楽しむ」が、四月三日東京大手町の日経ホールで開催された。内容は「歴史文化の活用と都市連携」として、ドイツロマンチック街道協会のヨハン・ケムプナー氏をはじめ、四名の発表者。基調講演

パネラーには全日中の中進士会長も

歴史街道推進協議会会長は歴史街道推進協議会会長の川上哲郎氏。パネルディスカッション「歴史文化の活用と知的な旅の創造」は作家・津本陽氏、全日中会長・中進士氏、日本旅行専務・本田勇一郎氏、建設省局長・脇雅史氏の四名のパネラーに日本経済新聞編集委員高橋勝一郎氏による司会です。

当日は教育関係者をはじめ、三百六十余名の参加者が熱心に討議を見守った。



シンポジウム「知的な旅を楽しむ」

「わかば奨学金基金」震災遺児への奨学金に協力と援助を 兵庫

阪神・淡路大震災の遺児たちに奨学金を！兵庫県学校厚生会と兵庫県教職員組合協議会は、「わかば奨学金基金（兵庫県南部地震遺児奨学金基金・石井亮一理事長）を昨年春設立した。

給付額は月額小学生三千円、中学生五千円、高校生八千円、二百三名の遺児に給付されている。

就学前の遺児も対象としており、今後十八年間継続していくので、国の内外から賛同・寄付を得ているが、更に多くの方々の協力と援助を呼びかけている。

「わかば奨学金基金」事務局＝〒650神戸市中央区北長狭通四一七三四 兵庫県学校厚生会館内 ☎078・331・9311 FAX 078・331・8000

### 修学旅行生に係る補導、被害の状況（平成7年中）

〈中学生〉		〈高校生〉	
●非行	●被害	●非行	●被害
暴行 2人(2件)	恐喝 21人(6件)	暴行 5人(2件)	恐喝 45人(13件)
万引き 7人(3件)	傷害 6人(2件)	飲酒 2人	傷害 1人
けんか 25人(1件)	暴行 1人	喫煙 8人	交通事故 1人
喫煙 3人	公然わいせつ 9人(2件)		その他事故 2人
	軽犯罪(つきまとい) 1人		
	交通事故 3人		
	行方不明 2人		

「修学旅行のたびき96」を作成 京都府警

京都府警察本部では、京都へ来る修学旅行の安全を期するために「修学旅行のたびき96」を作成、関係各校に配布した。

「たびき」には、平成7年中の修学旅行生の月別入浴状況、補導・被害の状況、修学旅行時の心得として、先生方へのお願ひなどがまとめられている。また清水、新京極、嵐山、JR京都駅周辺など地域別に起きやすい問題と担当警察署・電話番号、イラストマップも掲載されている。

平成7年中の補導・被害の状況は別表のとおりだが、グループ活動中の恐喝があり、班別学習が主力になった今日、府警では特に110番通報など、注意を呼びかけている。

なお「たびき」や事故防止の相談は、警察本部少年課(075・451・9111内線2866)まで。

茨城県立高校も国内航空機利用可能に

茨城県教育委員会は、県立高等学校の修学旅行について、平成8年度から旅行範囲を国内全域に拡大し、航空機利用を認めることとした。

これにより、中部地方以東では、栃木・愛知両県を除く全都道県で航空機利用が可能となった。

新支部長紹介  
山形県支部長に細谷氏  
財団法人全国修学旅行研究協会の山形県支部長に、四月一日付で細谷晃三氏が就任した。

細谷氏は山形県教育委員生活福祉部、県立高校事務部長等を歴任し、本年四月から県教育委員会福利課長。

座禅体験で「心、リフレッシュ!!」

清潔、安全、快適、安心のお宿

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

〈国際観光旅館〉  
比叡山 延暦寺会館

TEL 0775-78-0047・0554  
TELEX 5464-917  
FAX 0775-79-5053

多彩なステージ。人気上昇中!!

さらにパワーアップしました。

宿泊研修・体験学習・オリエンテーション・修学旅行

昨年4月 新館オープン(研修室多数)  
11月 文化センターオープン(大ホール600名収容)

●主なスポーツ施設と体験学習コース例

宿泊施設(500名収容)・グラウンド・体育館・乗馬・室内温水プール・テニス(30面)・研修室・ハイキング・ウォークラリー・テーブルマナー・運動会・座禅・スポーツ体験・陶芸・職工芸教室・史跡見学など。

ルネサンス リゾートスポーツプラザ

〒979-61 福島県東白川郡棚倉町大字関戸字一本松  
TEL.0247-33-4111

●交通ガイド  
【バス】東北自動車道：白河ICよりR289で45分  
【JR】東北新幹線：新白河駅よりバスで40分

東京コマ旅行会館は第8回優秀防火建築表彰で建設大臣賞を受賞いたしました。

東京でのお泊りは安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様へ、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉  
東京都港区六本木1丁目7番地  
TEL (03) 3585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

首都東京を見て、何かを!

東京ドームもすぐ近く  
お泊りは 都心の経験豊かな

本郷の旅館へ

本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-3813-9381